

## 景気ウォッチャー調査・平成 21 年 5 月調査における 新型インフルエンザ関連のコメントについて

平成 21 年 6 月  
内閣府政策統括官（経済財政分析担当）

### < ポイント >

「景気ウォッチャー調査」の平成 21 年 5 月調査（調査期間：5 月 25 日～同 31 日、回答者数：1,824 人）において、新型インフルエンザに関するコメントを寄せた景気ウォッチャーは、景気の現状判断について 230 人（回答者の 12.6%）、景気の先行き判断について 180 人（同 9.9%）であった。

地域別にみると、現状判断、先行き判断ともに、全ての地域からコメントが寄せられたものの、回答者数に占めるコメント数の比率では、多数の感染者数が発生した近畿が現状判断で 34.5%、先行き判断で 23.0%と際だって高かった。

コメントの中身をみると、現状判断では、マスク等の衛生用品や備蓄用の食料品等の売上増などがみられたものの、大半のコメントは、旅行・飲食関連のキャンセルの急増や売上減、百貨店・レジャー施設等での来客・売上の減少等のマイナスの影響に言及したものであった。先行き判断では、新型インフルエンザの感染拡大の終息に伴う客数・売上の回復に期待する声がある一方、今後の新型インフルエンザの動向に懸念を示す声もみられた。

### < 集計結果及び主なコメント >

#### 1. 景気の実況判断

全回答者1,824人中、230人（回答者の12.6%）の景気ウォッチャーが新型インフルエンザについてコメントした。

#### 主なコメント

（ 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪 ）

#### 【近畿】

##### （家計動向関連）

- ：新型インフルエンザの影響で、マスクやアルコール消毒液、うがい薬などが前年比で異常なほど動いており、備蓄用の食料品も好調に推移している。一方で、外出を控える人が増えたため、衣料品の売上が落ち込んでいる（近畿＝スーパー）。
- ：新型インフルエンザの影響で客足が止まり、大打撃となっている（近畿＝テーマパーク）。
- ：新型インフルエンザの影響で中止や延期となったイベントの対応に追われている（近畿＝その他レジャー施設 [ イベントホール ]）。
- ×：神戸で新型インフルエンザの集団感染が始まって以降、来客数が通常の 2～3 割に落ち込んでおり、非常に厳しい（近畿＝衣料品専門店）。
- ×：新型インフルエンザの影響で予約のキャンセルが増えており、当日の来客数も減っている（近畿＝一般レストラン）。
- ×：新型インフルエンザの風評被害を受け、5、6月の予約がほとんどキャンセルになっている。好不況の次元の問題はなく、地域のホテル全体が倒産の危機に直面している（近畿＝観光型ホテル）。

### (企業動向関連)

- : 省エネ家電のエコポイント制度の効果もあり、薄型テレビが好調な荷動きとなっており、新型インフルエンザの影響で空気清浄機の荷動きが活発である(近畿 = 電気機械器具製造業)。
- : レンタル用品の出荷管理作業を受け持っているが、新型インフルエンザの影響でキャンセルが続出しており、例年よりも出荷が激減している(近畿 = 輸送業)。

### 【その他の地域】

#### (家計動向関連)

- : 新型インフルエンザの感染拡大の影響で、低単価ではあるがマスクの売行きが良くなっており、店頭はにぎわっている(東北 = 一般小売店[医薬品])。
- : 定額給付金の給付が始まったことから客がソフト購入に来たとの声も聞かれる。また、新型インフルエンザの影響が当業界にはフォローになっている(南関東 = その他小売[ゲーム])。
- : 新型インフルエンザの影響で来客数は減少したが、1人当たりの買上点数は増えており、客単価もまた上昇している(中国 = スーパー)。
- : 新型インフルエンザの報道を受けて、観光客が激減している(北海道 = 一般小売店[土産])。
- : ゴールデンウィーク中は、高速道路料金引下げの影響で行楽に出掛ける客が多く、来客数は前年割れしている。加えて、新型インフルエンザの感染者数が国内で急増して以降は、感染地域ではないにもかかわらず、来客数は前年同月比20%近く的大幅マイナスとなり、売上も前年同月を大きく下回っている(東海 = 百貨店)。
- : 新型インフルエンザの影響で関西方面の修学・観光旅行、出張のキャンセルが続出した。関西以外でもスポーツ観戦や観劇などの団体予約が中止となった(九州 = 旅行代理店)。
- x: レストラン、宿泊、宴会共に来客数が全く伸びない。3か月前と比べて下げ止まった感じがしたところで、新型インフルエンザの影響でビジネスの出張客の動きが止まっている。法人宴会も3件のキャンセル、1件の延期が出てしまっている(南関東 = 都市型ホテル)。
- x: 全体としては前年比2割を超える減少となった。個人客数は高速道路料金引下げなどもあって前年並みに推移した一方、団体客数は景気の悪化から企業団体を中心に前年比3割程度の減少となった。また、海外からの客数は新型インフルエンザの風評被害もあり前年比3割を超える減少となった(北陸 = テーマパーク)。
- x: 最も室料単価の高いゴールデンウィーク期間中の売上は前年比で10%増と好調であったが、新型インフルエンザによる修学旅行のキャンセルがあり、後半は伸びず、総売上においても85%と大幅に減少している(沖縄 = 観光型ホテル)。

#### (企業動向関連)

- : 取引先の荷動きは昨年より天候が不安定なため、特に夏物向け商品、家電、レジャー商品等の荷扱いが減っており、思ったほどではなかった。しかし、新型インフルエンザにより、空気清浄機の動きが良いようで目立っている(北関東 = 輸送業)。
- : 新規取引先の開拓により売上は前年を上回っているが、最近では関西の小売店が異常に悪い。新型インフルエンザの影響で店頭に来ない人が多く、不況に加えてダブルパンチである。当地からの出荷も全体的には相当厳しい(四国 = 繊維工業)。

## 2. 景気の先行き判断

全回答者 1,824 人中、180 人（同 9.9%）の景気ウォッチャーが新型インフルエンザについてコメントした。

### 主なコメント

（ 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪 ）

#### 【近畿】

##### （家計動向関連）

- ：新型インフルエンザの影響も終息し、元の状態に戻ってくる（近畿 = その他専門店 [ 食品 ]）。
- ：住宅ローン減税の拡充による追い風もあり、実需に基づいた客が増えているため、新型インフルエンザの騒ぎが落ち着けば客足も戻る（近畿 = その他住宅 [ 展示場 ]）。
- ：7月の予約分までキャンセルが来ているため、今後についての予測が立たない（近畿 = 観光型旅館）。
- ：新型インフルエンザの拡大が落ち着けば戻るものの、見通しが立たない。アジアからの観光客はまだ様子見状態で動いておらず、宴会・レストランも全体的に冷え込んでおり、先行予約は悪い。さらに、総選挙が実施されることになれば余計に人が動かなくなるため、より一層厳しい状況となる（近畿 = 都市型ホテル）。

##### （企業動向関連）

- ：季節的に夏物商材が動いているが、当用買いのため、追加の仕入れには期待できない。全体では前年比で 15% 落ち込んでいるほか、新型インフルエンザの余波で催事も減っているため、先行きの見通しは厳しい（近畿 = 繊維工業）。

#### 【その他の地域】

##### （家計動向関連）

- ：新型インフルエンザの影響がどう残るかで回復の度合いが変わってくるが、今の落ち着きつつある状況が続けば上向いてくる（南関東 = 旅行代理店）。
- ：夏までに新型インフルエンザの沈静化が予想されることから、これ以上の景気悪化は考えにくく横ばいで推移する（東北 = 一般レストラン）。
- ：夏休み期間の予約が始まり、出だしは順調である。しかし、それまでの予約が新型インフルエンザの風評被害でキャンセルがあり、前年比 2 桁低下している（北陸 = 観光型旅館）。
- ：今後も新型インフルエンザが流行すれば、更に来客数はダウンする（中国 = 衣料品専門店）。
- ：新型インフルエンザの拡大により仕入値が上がったり、流通自体の状況が悪くなることが考えられる（九州 = 高級レストラン）。
- ×：新型インフルエンザの影響による旅行の取消しが深刻である。海外旅行はメキシコのみならず、影響のないハワイやその他の地域まで取消しが出ている。また、国内旅行も取消しが相次いでおり、売上で 2 千万円近くもの影響が出ている。北朝鮮の核実験など不安要素が多いことから、今後については悪くなる（北海道 = 旅行代理店）。

##### （企業動向関連）

- ：梅雨時期はあまり期待できないが、7～8月は現在の居酒屋の状況を見ると、かなり期待できる。冷食加工向けも少しずつ動きが出始めており、期待できる。今のところ食に対する新型インフルエンザの影響も出ておらず、やや良くなる（九州 = 農林水産業）。

# 新型インフルエンザコメント集計表（地域別）

2009年5月調査

（ 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪 ）

現状	回答者数 (a)	総コメント数 (b)	関連コメント数(c)					×	関連 D I	(c)/(a)	(c)/(b)
北海道	110	76	13	0	1	4	2	6	25.0	11.8%	17.1%
東北	195	136	14	0	1	4	4	5	26.8	7.2%	10.3%
北関東	179	116	11	0	1	5	3	2	36.4	6.1%	9.5%
南関東	291	192	23	0	3	6	4	10	27.2	7.9%	12.0%
東海	219	187	19	0	1	2	9	7	21.1	8.7%	10.2%
北陸	99	88	10	0	1	5	2	2	37.5	10.1%	11.4%
近畿	261	193	90	0	6	21	32	31	25.6	34.5%	46.6%
中国	166	134	19	0	3	6	8	2	38.2	11.4%	14.2%
四国	88	64	9	0	0	2	5	2	25.0	10.2%	14.1%
九州	175	122	16	0	2	5	5	4	32.8	9.1%	13.1%
沖縄	41	30	6	0	0	2	2	2	25.0	14.6%	20.0%
全国	1,824	1,338	230	0	19	62	76	73	27.9	12.6%	17.2%

先行き	回答者数 (a)	総コメント数 (b)	関連コメント数(c)					×	関連 D I	(c)/(a)	(c)/(b)
北海道	110	73	10	0	2	1	2	5	25.0	9.1%	13.7%
東北	195	146	12	0	0	8	3	1	39.6	6.2%	8.2%
北関東	179	132	7	1	1	3	2	0	53.6	3.9%	5.3%
南関東	291	213	18	1	4	4	5	4	40.3	6.2%	8.5%
東海	219	204	12	0	2	6	2	2	41.7	5.5%	5.9%
北陸	99	87	12	0	1	9	1	1	45.8	12.1%	13.8%
近畿	261	201	60	0	21	18	15	6	47.5	23.0%	29.9%
中国	166	139	14	0	6	4	4	0	53.6	8.4%	10.1%
四国	88	76	12	0	1	7	4	0	43.8	13.6%	15.8%
九州	175	138	15	0	5	4	4	2	45.0	8.6%	10.9%
沖縄	41	32	8	0	1	4	1	2	37.5	19.5%	25.0%
全国	1,824	1,441	180	2	44	68	43	23	44.3	9.9%	12.5%

新型インフルエンザに関連するコメント(09年5月調査)

現状判断D I

地域名	全国
回答者数(A)	1,824
総コメント数(B)	1,338

調査客体は2,050人  
現状判断にコメントした人の総数

	×					合計	関連D I
家計動向関連	0	17	54	70	65	206	27.8
小売関連	0	14	36	33	17	100	36.8
飲食関連	0	1	1	7	9	18	16.7
サービス関連	0	2	16	29	38	85	19.7
住宅関連	0	0	1	1	1	3	25.0
企業動向関連	0	2	7	5	7	21	29.8
製造業	0	1	2	2	3	8	28.1
非製造業	0	1	5	3	4	13	30.8
雇用関連	0	0	1	1	1	3	25.0
合計	0	19	62	76	73	230	27.9

A に対する割合	12.6%
B に対する割合	17.2%

先行き判断D I

総コメント数(C)	1,441
-----------	-------

先行き判断にコメントした人の総数

	×					合計	関連D I
家計動向関連	2	38	60	36	21	157	44.3
小売関連	0	14	30	11	10	65	43.5
飲食関連	0	3	7	4	1	15	45.0
サービス関連	2	19	23	20	10	74	44.3
住宅関連	0	2	0	1	0	3	58.3
企業動向関連	0	5	6	6	1	18	45.8
製造業	0	1	3	1	0	5	50.0
非製造業	0	4	3	5	1	13	44.2
雇用関連	0	1	2	1	1	5	40.0
合計	2	44	68	43	23	180	44.3

A に対する割合	9.9%
C に対する割合	12.5%